



追加型投信 / 海外 / 債券

ワールド短期ソブリンオープン 決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2016年8月10日

平素より、「ワールド短期ソブリンオープン」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当ファンドは2016年8月10日に第142期の決算を迎え、当期の分配金を前期の20円(1万口当たり、税引前)から10円(1万口当たり、税引前)に変更いたしましたことをご報告申し上げます。
今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配金と基準価額(2016年8月10日)

分配金(1万口当たり、課税前)

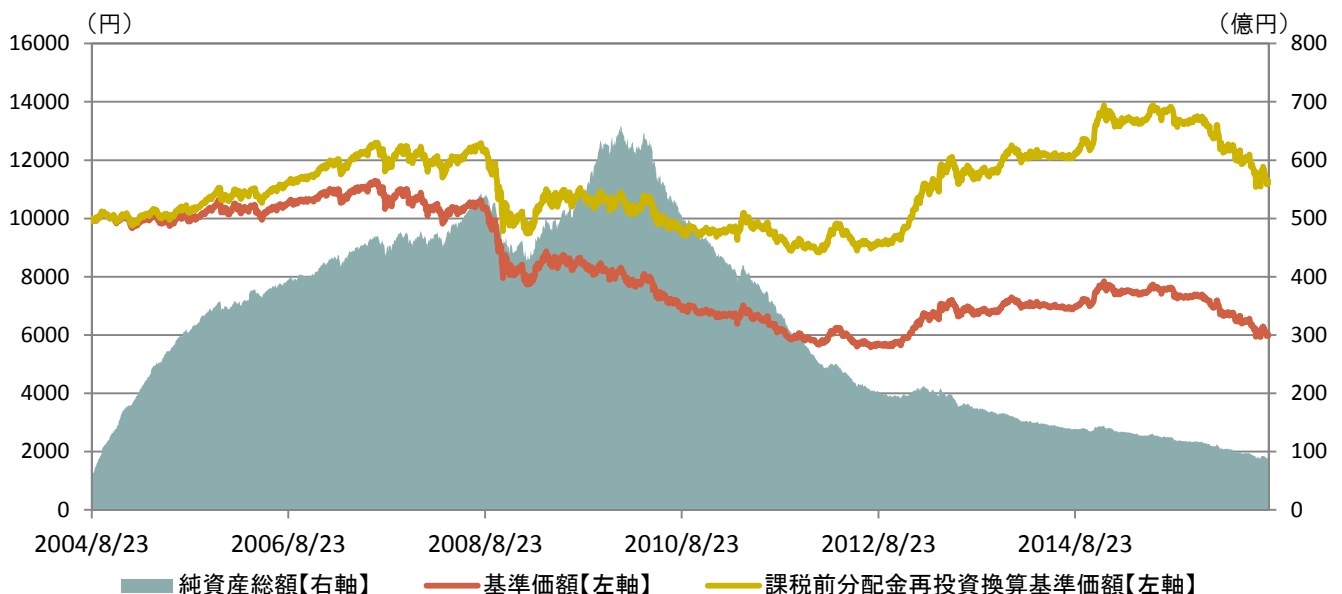
10円

基準価額(1万口当たり、分配落ち後)

5,988円

・収益分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

基準価額と分配金の推移(期間: 2004年8月23日(設定日)~2016年8月10日)



・基準価額および課税前分配金再投資換算基準価額は、信託報酬控除後の値です。
・「課税前分配金再投資換算基準価額」は、この投資信託の公表している基準価額に、各収益分配金(課税前)をその分配を行う日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、当社が公表している基準価額とは異なります。

分配金実績(1万口当たり、課税前)

04/11-06/10	06/11-11/10	11/11-13/3	13/4-16/7	16/8	設定来累計
30円	50円	30円	20円	10円	5,040円

・収益分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

■上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ワールド短期ソブリンオープン

分配金引き下げについて

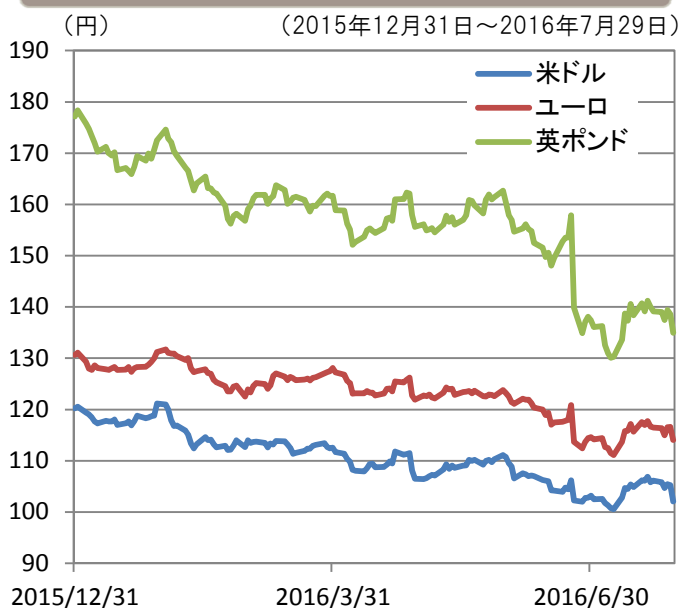
当ファンドが主要投資対象とする「日本を除く世界主要国のソブリン債券」の利回りが長期的に低下傾向にある中、基準価額の水準、市況動向、利子・配当収益の水準等を勘案し、分配金を引き下げることにいたしました。

2016年初来の振り返り

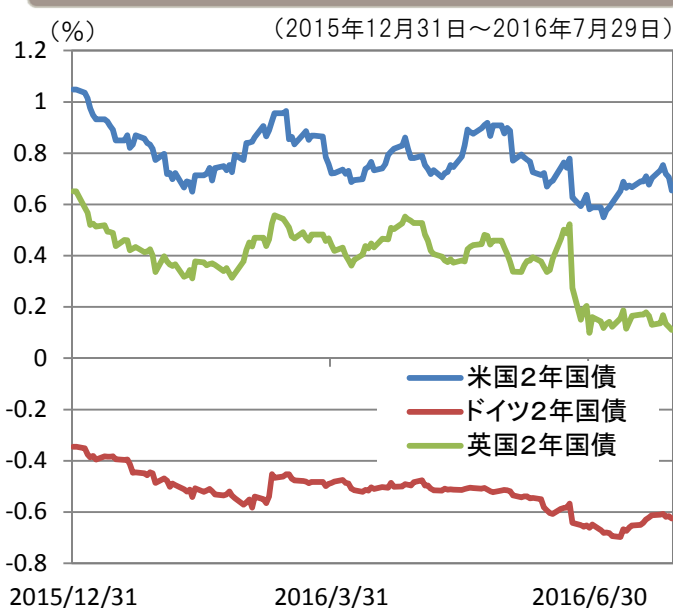
2016年初来の為替市況は、主要国通貨は日本円に対して下落しました。日銀が1月にマイナス金利を導入したものの、中国で景気減速懸念が一時高まったことや、6月に行われた英国の欧州連合(EU)離脱を巡る国民投票で離脱派が勝利し世界的に景気の先行き不透明感が高まったことなどから、円が主要通貨に対して買われる展開となり、主要国通貨は対円で下落しました。米ドルは、米国の雇用統計などの経済指標が経済の成長加速を示さず米国の早期利上げ期待が後退したことなどから、円に対して下落しました。ユーロは、欧州中央銀行(ECB)が追加金融緩和を実施したことなどから、円に対して下落しました。英ポンドは、英国のEU離脱による景気悪化が懸念されたことなどから、円に対して下落しました。

2016年初来の債券市況は、米国など多くの主要国国債の利回りは低下しました。米国では、2015年12月の米連邦公開市場委員会(FOMC)で利上げが実施されたものの、低インフレを背景に市場では今後の利上げペースは緩やかであるとの見方が強まったことなどから、米国2年国債利回りは低下しました。ユーロ圏では、ECBが量的金融緩和を継続していることなどから、ドイツ2年国債利回りは低下しました。英国では、英国のEU離脱懸念を背景に、英国中央銀行(BOE)が金融緩和を実施するとの期待が高まったことなどから、英国2年国債利回りは低下しました。

為替の推移



2年国債利回りの推移



(出所)Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■ 上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ワールド短期ソブリンオープン

今後の見通し・運用方針

米国経済は家計部門を中心に底堅く推移していることなどから、米連邦準備制度理事会(FRB)は引き続き利上げを実施する可能性があるとしており、他の主要先進国との景気や金融政策の格差を背景に米ドルは円を含む主要国通貨に対して緩やかに上昇するとみています。また、資源価格が低迷していることや世界的に金融緩和が進んでいることなどから、今後のFRBの利上げは緩慢なペースとなる見込みであり、金利の上昇は限定的とみています。ユーロ圏については、ECBによる追加の金融緩和期待を背景に、金利は低下余地を探る展開になるとともに、ユーロは多くの主要国通貨に対して下落するとみています。また、英ポンドは英中銀による金融緩和期待や英国のEU離脱に伴う不透明感などを背景に、主要国通貨に対して軟調に推移するとみています。

今後の運用方針については、通貨戦略(国別配分)では、通貨高が想定される米国の組入比率を高めとする方針です。債券戦略では、量的金融緩和策の長期化が見込まれるユーロ圏についてデュレーションを長めに維持する方針です。

■上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ワールド短期ソブリンオープン

ファンドの目的・特色

【目的】

安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

【特色】

1 日本を除く世界主要先進国のソブリン債券を主要投資対象とし、分散投資を行います。

◆原則として、A格以上の格付けを有するソブリン債券に投資を行います。

◆債券の組入比率は、原則として高位を保ちます。

【ソブリン債券】 各国政府や政府機関が発行する債券の総称で、自国通貨建・外国通貨建があります。また、世界銀行やアジア開発銀行など国際機関が発行する債券もこれに含まれます。

2 ソブリン債券からの利子収入に加え、デュレーションを原則として1～3年程度の範囲とすることで、安定した投資成果を目指します。

◆デュレーションを相対的に短くすることで、長期の債券を中心にポートフォリオを構成した場合よりも安定した投資成果を目指します。

【デュレーション】「金利が変動したときの債券価格の変動性」を示すもので、債券に投資した場合の平均投資回収年限を表す指標でもあります。

例えば、デュレーションの値が「2」の債券は、金利が1%上昇(低下)すると債券価格がおおよそ2%下落(上昇)します。(他の価格変動要因がないと仮定した場合の例です。)一般に、満期までの残存期間が長い債券や利率が低い債券ほど、デュレーションの値が大きく、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。

◆マクロ経済分析をベースとした金利・為替予測に基づき、国別の配分比率およびデュレーションを決定し、ポートフォリオを構築します。

◆シティ世界国債インデックス1-3年(除く日本、円ベース)をベンチマークとします。

◆原則として、為替ヘッジは行いません。

資金動向や市況動向等によっては、特色1、特色2のような運用ができない場合があります。

3 毎月決算を行い、収益の分配を行います。

◆毎月10日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針

・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

・委託会社が基準価額の水準、市況動向、利子・配当収益の水準等を勘案して分配金額を決定します。

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

ワールド短期ソブリンオープン

ファンドの目的・特色

収益分配金に関する留意事項

◆分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



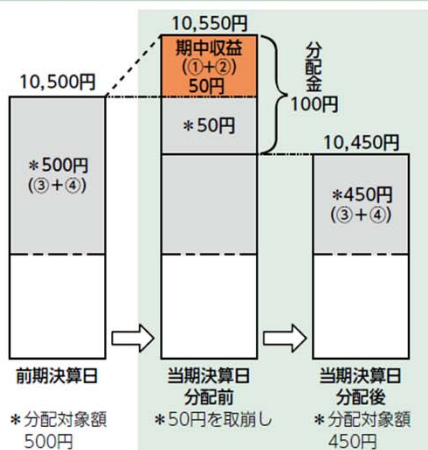
◆分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。

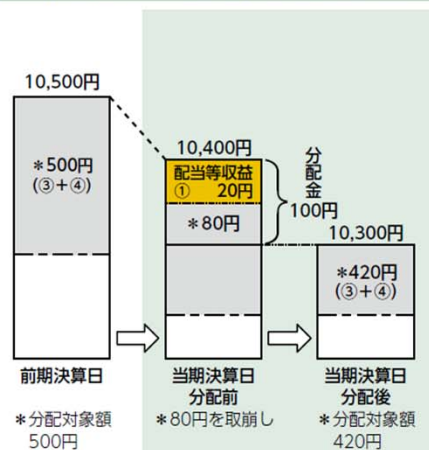
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



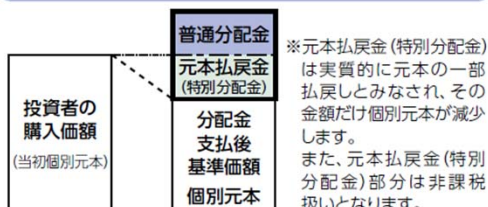
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

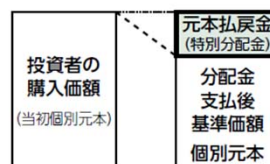
収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

◆投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ワールド短期ソブリンオープン

ファンドの目的・特色

■ファンドのしくみ: ファミリーファンド方式により運用を行います。

ファミリーファンド方式とは、受益者から投資された資金をまとめた投資信託をベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資して、マザーファンドにおいて実質的な運用を行う仕組みです。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

○為替変動リスク

当ファンドは、主に米ドル建およびユーロ建等の有価証券に投資しています(ただし、これらに限定されるものではありません。)

外貨建資産に投資を行いますので、投資している国の通貨が円に対して強く(円安に)なれば当ファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く(円高に)なれば当ファンドの基準価額の下落要因となります。

○金利変動リスク

投資している債券の発行通貨の金利水準が上昇(低下)した場合には、一般的に債券価格は下落(上昇)し、当ファンドの基準価額の変動要因となります。また、デュレーションの長さも価格変動に影響を与えます。

例えば、金利水準の低下を見込んでデュレーションを長くしている時には、金利変動に対する債券価格の感応度が高くなり、当ファンドの基準価額の変動は大きくなります。

○信用リスク

原則として格付けがA格以上のソブリン債券に投資しますが、投資している国の経済情勢の変化や各投資対象の格付けの変更により、債券価格が変動し、当ファンドの基準価額も変動します。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。
くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ワールド短期ソブリンオープン

手続・手数料等 お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■お申込みメモ

【購入時】

- 購入単位 販売会社が定める単位
販売会社にご確認ください。
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。

【換金時】

- 換金単位 販売会社が定める単位
販売会社にご確認ください。
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
- 換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。

【申込について】

- 申込不可日 ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドンの銀行のいずれかが休業日の場合には、購入・換金はできません。
- 換金制限 当ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。

【その他】

- 信託期間 無期限(2004年8月23日設定)
- 繰上償還 以下の場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
 - ・当ファンドの受益権の総口数が、当初設定時の10分の1または10億口を下回ることとなった場合
 - ・当ファンドを償還させることが受益者のため有利であると認めるとき
 - ・やむを得ない事情が発生したとき
- 決算日 毎月10日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 毎月の決算時に分配を行います。
販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
- 課税関係 課税上は、株式投資信託として取扱われます。
公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。
配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 <u>上限1.62%(税抜 1.50%)</u> (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に <u>0.2%</u> をかけた額

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 <u>年率0.864%(税抜 年率0.800%)</u> をかけた額
その他の費用・ 手数料	監査費用、有価証券等の売買・保管、信託事務にかかる諸費用等についても当ファンドが負担します。 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。
※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

ワールド短期ソブリンオープン

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○			
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○

※今後、上記の販売会社については変更となる場合があります。

委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社 三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
- 受託会社 みずほ信託銀行株式会社
(再信託受託会社:資産管理サービス信託銀行株式会社)

- 販売会社 販売会社の照会先は以下の通りです。

三菱UFJ国際投信株式会社
TEL 0120-151034(フリーダイヤル)
受付時間/営業日の9:00~17:00
ホームページ <http://www.am.mufg.jp/>

<本資料に関してご留意頂きたい事項>

本資料は当ファンドの分配金に関する情報や運用状況をお知らせするために三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託の取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。なお、以下の点にもご留意ください。○投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。○銀行等の登録金融機関でご購入頂いた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。○本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。○本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。○本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。